



関鉄協など

奈良朱雀高校で 出前講座開く

関西鉄筋工業協同組合
(岩田正吾理事長)と関
西圧接業協同組合(濱野
功理事長)は11日、奈良

朱雀高校で出前講座を開いた。建築工学科の2年生約35人を前に、鉄筋業や圧接業の現状を説明。座学の後、生徒らは鉄筋の組み立てと圧接作業を体験したり写真。

実技は生徒を5班に分け、3級検定モデルの鉄筋組み立てと、圧接作業の見学、体験を行った。

今回の出前講座を担当した辻本鉄筋工業(橿原市)の辻本浩二氏は「若い人たちに、まずは体験を通じて鉄筋というものを知ってほしい。今回の講座をきっかけに少しでも興味を持ってくれれば」と期待を寄せる。男子生徒の一人は「初めて体験できて、新鮮で楽しかった」と感想を話していた。